平松町本
諸訪多

世間仲人為貨序

聘則為妻奔則為妾とは古人の教
ふる所なり婚礼の嫁をもて
妻とし云ふ所ばかり生質の美にして
己れを能く乃人と好とするの
色欲仲人育の往やいつの世の張より初
いまだ曰情をもて出奏を媚て

吉田文庫
遠13
満1887
巻2

作者さ筆に和歌を書集し人先く
乎見玉無乃つ

作者　永井堂　亀友

世間仲人氣質因縁

第一之巻

[illegible]乃因縁中末とこぢ村てそ[illegible]
[illegible]十年ゆ[illegible]大銅の弾村ハ尾そうけて[illegible]人ハす
[illegible]百九十八書と市の[illegible]筆ハ[illegible]れ
[illegible]中ハ[illegible]ハ中ハなか
[illegible]乃姫ぐ[illegible]を[illegible]止[illegible]の巻
京の[illegible]ぐ[illegible]る中でたのしむ毎人の巻
[illegible]乃中の[illegible]
[illegible]の本[illegible]乃氏あゆむ田舎の元姫

第二之巻

第二之巻

[illegible]この男ハ一風ある女房のてんぢく
[illegible]小兒ハ[illegible]ものもらひ夫人共も嫁
大坂[illegible]出入毎日大のうち
衣類屋風の[illegible]がかい表中まで男のさうこざ
[illegible]あ藤のうち合住事

第四之巻

仲人の使者[illegible]
こんなはいハ女乃仲人も男ハ[illegible]
[illegible]の[illegible]

第五之巻

来年の[illegible]
[illegible]
[illegible]

世間仲人氣質巻之壹

一

[illegible]乃かんろんは[illegible]ちゞつけそ[illegible]
[illegible]年まつふあ[illegible]大朝の[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]
[illegible]

世の流よしをあハうんとけあをとこをじやとしてたゝんぶ
山門の教ゝ引　古語ふるゝたゝんぶ一ハ門ハ教
義にをもゝをも　経ゝ引あをもゝと　囊みをとれあを一ハ
ゝろござゝまあと　国家人ハをやゝ　ゝ　ゝ
下ゝハかどけゝあゝ　ゝたゝんぶ　ゝ　ゝ
京師の人ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝあのゝを　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
の　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
物　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
初　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
河内の辺　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ちうとつゆ〳〵云ふまつ〳〵笑ふこと人〳〵云で七月十日又ハ
大晦日ゆゑ用心せよ。あるひハ抄物ゆうなぐ樣と問
こん所ゆまゝ云ふ。あるひハ高明此頃〳〵抑
なとすう〳〵云てうつもつ。そのハ一日をうくいつそうけ
まうう〳〵京師のこと葉。新發ちの人〳〵ゆうるゆ事と
そのハ一日すく〳〵いつくちうつもつ。めぐる十八里乃
石と日ぐうふきさをうちに京師の附家をのんぐうぬの
田を移さうくふ吸ふぐさんとちりくいつくりぐさん。
こぐまにでセッとゆのて宿あこ用ふ這入なぐ云ふ。先と家
乃京ふこうすく毎ゆ新ふうりて古板人が出ぐ物ゆ
いつてぐと京師方此ハ大きゆ遠ひ出ぐ。をハ出る夏。
とハ入る息刈呼吸ふりてアウンの二ツ。根ゆふ拍ゆとこの人

此人呼吸ハ出ぐ〳〵足ゆ出ぐもうとうぐさをその人ゆ〳〵アウン
の二ツ陰陽の二氣とたぐぐて用を見ゆう。さすまばば
新發人のをこくこそ理ゆ。京師のすく〳〵でいゆる夏
ぐうり此中でまぐゆ〳〵かんやゆ江戸人が拍をかゆて云ふこと云
ゆく〳〵ハ出ぐて毎の入〳〵云ふ。京の所ゆ拍をかゆて云ふ
ハぐふぐやいゆつまりまゆあでハ云ふ。江戸所の云ゆ〳〵かゆて
こふハかゆぐかゆ。かゆ。かゆ。かゆ。このゆうりゆれ出ぐかいぐう
ゆうひゆう。京師のうて来ゆ陽で呼吸ふ音一すゆうりて
こゆゆぐ〳〵云新人ゆ合ゆて入ハ毎の入〳〵ゆこぐ根江戸人が
拍とうゆうゆうゆうゆう〳〵来ぐいゆぐ〳〵ふゆ。ゆうぐ
乃拍ゆ毎ゆ入ハ出ゆ毎ゆ出ゆ毎ゆ出ゆ毎ゆ

ガア
きょろ〳〵
りふ
ちひさーしの
えんが
きこ
きょい〳〵
ろ〳〵
ろ〳〵
まてひ
のこぎりと
ぞろ
あーと
こうせ
何ごーして
けやつる
大きな
えんが
えれさ
やー
あんまりで
ぐふもこう
まくら
大ぶすふ
ぐろ
さそ
ろーで
ばいよ

るん。ちう〻彩金く仁和寺く信濃よりてこゝやさ
し江京師の吾る世話の通りこゝ中でゝ大坂のすゝく
とゆゝ戸の庇のかゝくかゝくの二つハ新らあゆゆゝふるさゝませ
とゆハ償え京師の青えを他ゆ人ゆ寄り新〻しゆふあの
とゝるゝと殺せゝゝが初めゝるのゝでゝきふゝ中ハ新るゝ
むちゆくでゝぐらゝまゝしゝこゝ云ゝゝ他ゆ人ゆがゝるゝふゝらひ
ちゆりらくむちゆくゝゝるゝんのゝゝゝゝゝ通りが京はるゝ
うたゝゝハ爲及の一紙ゝ元ハゝらゝい元ハ豚じゆゝゝて一回
一度の奥をゝりゝりゝまゝしゝがゝゝまゝでゝゝゝゝゝ山信えが
ちゆりゝまゝしゝゝ姫路の常〻ゝゝゝゝゝ

大ようの時代も新まり。もろ〳〵いつゝ今ぞろにもわるくなりたる
年人。ぞ所の屋よ未もろ〳〵物〳〵うの行らん

二

二百九十八畳と市の月ろ傘、勇上らみちゝれ
多年に万組を大ようふ仕りかせる風義の中ハ
幸といつ和八行所ろ月人世ろに之ゆ仕合ゆらるもみ兎ゝ系
魚のみ世ゆ。祝ぐ〳〵金ゆ氏ろ子の而ろもゝ。拾月十月ゝ
茶所ろ侯系の上百と弐石ろう湖ろまゝ。解栗三半別よ
みてたゝんぞろふ市ゆゝ拾下男のすゝゝいづ彼栗とろ人ろ
とゝまゝ〳〵ろまゝ知へゆて大のもとみまゝめ〳〵ぬまゝで
栗ろもゝろゝ人が有ゆへろぞいろんで人ゝろゝろゝ。
ろゆ人幸ゆゝ尾いぞろゝんで月人ゝて茶屋の男がかゝゝまゝと
入てゝ〳〵晩まて栗だゝけゆてゝすハのおろゆて人せろわゝ。

行月けもゆるゝとゝろゝゆ。申の年ゆ正月のよ播磨栗とめ
まてろゆと福ゝろゝと入ぞ新ろろゝお飛。そまゝハゝゆるのいろ
ゝゝ人ゝゝまゝてゝとめまゝてて栗ろもゝ年ゆ。
どれもゝゝとゝいゝゝゝみゝゝ〳〵とつゝゝゝ又栗とつゝゝ。
りゆゆゝちよゝゝ月せろれぞ。ゝゝゝもろゝゝいゝゝく系ゆろゝと。
ゝゝ元のおゝゝ8ゝ新の吉松もかぞの七ゝゝゝとう栗ろゝゝゝ
く第てゝろ西。出入のゆゝまえゝゝゝ育人反ゝまゝゝ結て
ゝゝゝろおゝまゝ成まてゝぞまゝ〳〵ゝゝれゝもろゝゝゝろゝゝまゝゝゝ
ゝゝゝのゝゝゝゝゝゝあゝゝめゝゝてゝゝゝゝるゝゝ行中紙よ
ろゝゝ物とろゝゝ。元ハ行そゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
世ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]十月立てとこと七和の[illegible]。[illegible]の[illegible]
[illegible]次のこと[illegible]の[illegible]を[illegible]仕合
[illegible]ハ[illegible]で[illegible]て[illegible]下男の[illegible]
[illegible]とゝ[illegible]作業[illegible]の仕合[illegible]
[illegible]家[illegible]ハ[illegible]
[illegible]氏の[illegible]。[illegible]
[illegible]の二月[illegible]
[illegible]人[illegible]。[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]と[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

[illegible]中[illegible]
[illegible]屋[illegible]
[illegible]屋[illegible]
[illegible]
[illegible]

ほどの丈にて立てたる門のうちをそれにくろひ山縁組の縁
なるが。相ごとに相分るる程ゆゑんを知りてそこにて相ハ松原屋の
傘屋西兵衛と云方初る人にて見て立てうしが。二百七十三表目
ろ二百九十八表までの所ある傘のうち久相も大家の淑人
さんと仕事ぶあいさんもうく傘屋の娘ふ。別山傘屋維七十七
よ成ろうしの娘にをつまを身代稼月のよ西嫁入せ
ふるのるなるが。きえもまくへ当の仕りうしさ方よ縁
談ありぐ世の間てまつまとしてで。古屋仕事ろつが仕事ふ
幸の縁組みてて為所とよ。ろ傘屋と為
雪しいさんで弱ぐ。ふ為お雪西山縁組ふ仕立相ろる
相家組女の時。山西人約て先生そのお西の花嫁ふ。ろうハすぐ
ふくくふ娘ふ。年八十七女中ふ義ハあけゆくわらくうふ。仕相

でもお来るほくふくで。相家ふくすくくわくくうしそふ八幸の
ふあ口ふ八ふふくが西でもすす。山ふ丁西の熊ふ撥屋相ふ人織
立どのれかあくふのよもふ人ふがまぐ撥ふ山ふるのの場。おお
と為ふよふあくふふくが一ふくうしてゆふてふくふ云ふうふく
うけ為しゆふて撥屋同ふふて為ふ仕事ふ引金ふしが。撥
屋の云ふて八。為ふで人今ふ
ふふうふうじゃが私ふ相ぐふ西の西人雪ふふくくトでぐぐ
ふあ又ぐのふふでござふ。別山二丁下の所のふふふふ市ふ
ふ相ふふがあふふの内仕のむ一ふてふくふ那の所ふ
ふふふふ相ふうふ一ふへぐむふふふふて一通を通ふふふが。
相西ぐくいさんて相為ふあけぐ。彼ふふ屋ふうけふ撥屋の
引合ふて仕事ふふ通相ふて相ふうふて。相ふうふい縁組でぐふふすが

かくあんれ
ちあのるれて
くるざれ
ぢざろ
万仕

んあはさん
りるぞていあるれ
できるそ
きてめ
けさうぶんい
ちけ
でんまの
あのざ

山縣八郎女房殿が釈里で生まれしことを聞き、急ぎ人を遣わし、
ようやくのことにて、ようやくに人は遣わせ、まずまずこれまでの
ことは、いかにもとを申すべきことは山は八重尾めよちぐひはない。
ゆえのTまえへ門口の傳の移りにて、物をつ、者へ、ようしが。山
里の計醫佐平次は、隣家屋二人の中へ、酒を呑んぶまれのみ
ちんすなてその人豆腐の吸物で、ぐいぐいのみ、ちょたろ屋の
女房、ちょう松、釈里人、あてに、弱後のつゆ、尋ねしこぶ里のもと又
ぶ申さ里の樣子、よのるかごの釈里樣、ちょうとこしが、母よ山
縁組と、釈で、重ねしこぶ、ござるまをうし。樣子を、急ぐ、遣せ
申とそ、まいり、遣てやされ、まいりこと、みあを中、重ね
さ。樣子、家屋が、遣有、見へ、先樣の、松子、嫁ぶの、釈ぶ、こみ、ひけを
申ぶ、見へ、ます。ようしへ、急ぐ、仕事、山、仕ようと、先ぶ、ひ、申せ、こと

立入ようしがそれでもあることを、かとかようへ、金子氏へ、お入のもと
見へ、急ぐ、遣ぶ、ぶ、ようしへ、急ぐ、尾ぶ、八郎、そ、あるぶ、今、
ぶ、遣ぶ、嫁ぶ、の、ぶ、を、ぶ、ぶ、ぶ

[illegible]

世間仲人氣質巻之二

一

[illegible]

[illegible]

人まことうつくしくして有りしかども
祖母さまなども嫁にとるまでもと
切に居合すれども
有よ家のぞく解かあるものいろあるん。けれども
なにとなくいつかい牡丹もちでんだよりとも人みても
ありろうかーそもゆんぐ解ぞーくうんちろふ山ぼく
解よりて言伝ろ拾ぐろ
とろ男。年八年又六年ろるが生賀をかとみて実体なる
人ぐーー人あるき母よ考ひとつ三十ろそも言妻ろて
T雅一人ろ女も小ぬとこ人つひ異技高ひ万深拘の猪
ゆぐんすふもだて小家の一郎るすもあ内縁も者ーかるぐ万
引小仲ろーて妊娠ひなくとろも見身拘。ぐ一ついい

このことはおろも南の家出をして生ひぬ夫婦はお嫁る解名
ぐ芝ろこぐんと戸ゆ人母もゆるさ逃人もろ北と戸とろーー。
又家ろろ山万の姉かーぐ見わて別姉智ーいふも異技高
人絶度松家ろて生代二人ぐちろ女の二人もろひ仲ろ
ろろもて内祝ーー。山第万今よ嫁をろてせ度心。万今も今
八猪ぬもろ猪ーー母もぐんくーう年ゆ人毛ふお遊ける解
ぐーをむすびーさ猪ぐひ。むつまで北姉姉智月ーにむぐけ
別友ぐにも教逃ろが松毛町ーーを引て心あろ家金家
井仲ーー進ーて金家ーーー井おるに。ある教松ーー人ろて
夫婦よむひ。ぬーさ逃ーろ人。井ろ
井は一万金ぬ山猪組の紙とはお猪ーーーーー。
ふーーー中八。ぬ自ぬ家人去ーーぐ解とるひまーたぐ

こを日よりぞうをおもふ妻が好物更へぐさ候と称するぞは花の色う
れがてく候こゝひ考ゑは先婦も如何ぞこゝろ人の
こんぜらまでど一人のちなみも肉のぐさ候ちてゝ治ーと見ハい
みゝてゝる所人面の器乃小使ゑ。古う毒る下はちゝ村の宝
とゝふ釈なが家りゆ人うんとぐく候ゝらあゝいてまぐそれは
ゝゝゝう存ますいてゝゝゝもうゝ
ゝゝゝとぐゝゝゝゝい喰て仕舞ぬ人ぐゝゝゝゝぐゝ
候のゝゝとゝ候つぐふ一ゝゝあてぐふたまぐ完ゝたゝゝ二ゝ経
すゝ乃ふいゝゝく住まゝゝがゝゝくいゝて収ひ繁まぐゝ
の初げゝけれはのゝゝと皇の形と小豆ゝ。かんぐびの大さるゝゝ
るゝ芽たゝゝゝゝゝゝ一ゝゝつぐ頭ゝ飯ゝゝゝゝゝゝ
すゝのゝゝて都内が入ゝゝひ。ゝゝの係ゝゝゝと言てゝゝゝ

ので氣がすゝゝゝのゝゝゝゝゝゝゝめぐひ我ゝゝゝゝゝゝゝ
ますゝ。私が主家の広屋のあゝゝ十一ゝ嫁がごゝゝまますゝゝゝゝゝゝ
がゝゝゝゝゝゝ候ゝゝ。釈ゝゝ友やゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ酒すゝゝゝゝで釈見が候ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
家の高人のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ある。姉のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

さてもこの
ぶいりよの
たびやのひすあで
ごさりまする
さてもこの
ふてい
あろまいり

きろう
ちんきゃ
すきゃ〜く
あゝもう
みーさの
ゆかうと
ちんこえの
しすめと
ゆかうの
ふハ

[illegible]の酒すきな百姓ばかりの
のまれて男のさげんが[illegible]あ一家[illegible]へすると二家[illegible]へ
[illegible]。先の暑始と[illegible]まるとあ[illegible]
[illegible]方[illegible]は[illegible]板のはあ[illegible]
つ[illegible]ふ[illegible]。[illegible]人接待を能
[illegible]の一家一の流[illegible]
[illegible]で男[illegible]
一まで村中でさんざ[illegible]の新[illegible]
よ[illegible]のせんど[illegible]
[illegible]始[illegible]の[illegible]
[illegible]候と[illegible]酒をすこしつ[illegible]
[illegible]。先日[illegible]

[illegible]村中の[illegible]でござ[illegible]
にござ[illegible]世話とな[illegible]
百のすぐ大[illegible]
[illegible]。先[illegible]で[illegible]
女子一人つ[illegible]
[illegible]下[illegible]の[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]方[illegible]
[illegible]小使[illegible]
[illegible]又姉が[illegible]の[illegible]
[illegible]酒とむ[illegible]
[illegible]
[illegible]

さて元屋とこんやは海の人でゑひ万かのぞむ蜜どつぞ者よは
者病を祈む万かが夜人女房を今秋つゝとくつぞ。松兼嘉
なるとゝどつぞ出産のあきら者ふはお信が結ゝ者ます。蜜
今ゝ者ゝまして母万かへ中ませまゝ。いゝ母万お信ゝあと
たゝがゝ小信ゝ小ゝ来ゝゝたのんでゆきます。先つゝ蜜へ
ごゝまゝぞ祝を今ゝ。仲ゝ進ゝ我屋ゝ

(二)

為乃虫の鳴ふ者ゝ蜜ゝ川原の風兼
檀の木ゝ花をあゝむ田舎乃花むゝ
行ゝ者ゝ編ゝ小ゝ。ゝ仲ゝ進の無事を祈て小信ゝのたゝつよゝくのゝまゝ
極乃忌の元屋大福帳第平の年へ入ゝ。見ゝ無ゝ
弱ゝ年ゝなゝ収び。お信ゝ乃ゝ迎ゝ

つゝ乃ゝ行ゝ。ゝ元ゝ屋ゝ。ゝ元ゝ屋ゝ。ゝ元ゝ屋

みて家来より七世孫の女小さえより下九人つゞきて紀ち
ゆうちおうけるが小八郎殿まで三代迄の墓迄もいとゝ家
敬さとて三番通の西のうぶ毛の墓乃儀なる菓子屋
戸をあらため入こうとして先一歩くらうと同をさせて領け。
西四郎殿ら勇成ちとつまで此小敷で出つの種かゝき
んがの出うこと梅津の檜と後ア一が樋川乃法まで出つ
ゆう家情ちうけ信さあの法まどをいつめとて仲と
を内室ら商売の数句。ちの出れ手紙字の作りて法力そ
法ちうくや出の琴と石彫筆を出て出てこの菓子番
のうこふ結ましと。者後て見ハまでいれ山川家をと
ちてよへなうまいと石彫よへてこうり墨風呂の地いつがう
じやうして領うけるたのうこいうこ西ちひ金さぶりの

法ちうそのうちうこうこう。枝山西で出志奥で出さ
しこを九つまふ成ちる西先法ちうん
こ西の家下は林村へ出ちるが仲と進ん人出入の小使ちの西者
ちうくちうこ。村の入口まで出たちるくしゆうの
百姓屋へちるが小百姓ちまで出たちるくしゆうの
体。道のこと新麦琉球の産家を麦ぼこ候の医花して
麦飯ちとうけ。ち堀のさうと焼ちして行倒ちる仲麦
飯を悦で客ぶうこ田舎の徒用新でしてて又中法乃
法ち。忠右衛八ぶうこ解もぬじゆが法ちうこうこ者の
嘆がちまんの狂父五八候しうち法のちが達ちにぶうきん
ここてちんぶこ給ち赤ちんぶ者ちめぶひで張達すれ
ち。元八ちうこ嘆流八さこ嘆ちうこ中みちてひこう

おなごとゝのむとゝゝゝ

げすのもきつふ
いろ〳〵さいれます
こちさうでごさりまする
いるあれハ
まろ

ちかあれ〳〵
すいたに
まる〳〵
のまそうじやあろ
伊とそ

三人組のさげを持あげるが。仲さん迄もさげんのに三度目に
下地の酒が酒のまんくたくしも多い酒ぬ。怪く三ごいめり
三人組の大変さ。三人ちさんしてその本色なるが第平内俊貞を
始も為おいて此中ますすのおあいのこと云てをきまする大酒もし
八始とのけて三人いこいのもので中しくつづまあ上戸ゆ今八仲さ
を座をとさぎりてこの酩酊えでくうんとんをとくくも高
ひこで人足る為ぶつ。やりくとあ空ちらく。ちくべ見ちくちた度
主人ちう算万今をこぢち姉算夫姐の庇同ちそ。お物米の
西人ちりませ。ぺさ自さう私ある始と毎よつ迄を迄牙を
ちりくつりませと云今を書つ同ちそ敬るが仲の不
よ始ある客米只人い神さをが元酒ゆ、ひさ一ちる又酒ゆ毛ゆ
て今八松兵衛を病をとぢつ只人ぶ碑くとびまさちうべくの

三ち鼻。患ちがこち終ちそ。ゆすりちそ。ちく。今ゆ嫁さと今ちを不
ひのぶやと人だ。松兵衛万今大あちびそりうちうんちうふせま
うくを生をいまん。芝で云すまあと二人の内俊ちちが同ち面。ひう
ちこすもちこちちも碑さぶちし。仲さ進ちまがゆちひぶく碑ゆそ連
中のちしびちを名ぶで神迄人お。嫁ちを今ちを不
神ちで左和ゆも賀ちゆ人い者ゆ中で寝ぶのちち者ゆすび
ちせぶまんちちく。四人ゆそいちのまふこけて和ぶで松兵衛の
毛風和ちそ人がぶちち。松ちくぶ。松ちの一ちを新ちを合。松ちの一ちを嫁
の芝新ちちんぶで組ち和ちちうんぶち松ちちうぶる
ちちく新

世間仲人氣質巻之二終